

## 仕事と介護の両立支援事業

### 実態把握調査 結果概要

株式会社 アーキタイプ

実施日：平成27年9月

- 1) 介護の経験および可能性については、介護経験者は少ないが、今後5年間の介護の可能性は約8割となった。また「介護することはない」の回答者は2割弱であった。
- 2) 介護に対する不安については、介護に対する不安を少しでも感じている者も含め全体の8割となった。不安要因としては「公的介護保険制度の仕組みがわからない」の回答が最も多く、「地域での介護に関する相談先がわからない」「介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい」が続いた。
- 3) 介護と仕事の両立については、介護と仕事を両立しながら仕事を続けられるか？の問いに「わからない」が約7割あり、介護への意識が漠然としていることも表れた。介護に対する不安がありながらも、「介護休業や短時間勤務等の制度を利用しつつ、出来るだけ普通に働き、仕事と介護を両立したい」という回答をした者が最も多かった。
- 4) 介護制度の周知度や介護休業に対する考え方については、公的な介護保険制度について「知っているものはない」の回答が4割弱あり、当社社員の周知度が低いことがわかった。地域包括支援センターのことについては「名称も利用方法も知らない」が8割の結果となった。また自社の介護支援制度については「制度があることは知っているが、内容はわからない」「制度があるかどうか知らない」が8割であり、周知不足であることが判明した。介護休業期間に対する各自の考え方は「仕事を続けながら介護するための期間」と「介護に専念するための期間」いずれかを問うと、ほぼ同数の回答となり認識が分かれた。
- 5) 仕事や職場の状況については、「おおむね定時退社している」が6割程度であった。また有給休暇の取得については「希望通りとれた」「大体希望通りとれた」が8割程度の回答であった。

## 仕事と介護の両立事業取組結果

企業名	株式会社 アーキタイプ
所在地	東京都渋谷区道玄坂1-19-13 トップヒル並木8F
業種	情報通信事業
常用労働者数	9人(男性:2人 女性:7人)
事業内容	Webサイト、プロモーションサイト、モバイルサイトの構築 Webサイトのコンサルティング・企画・制作・運営・ログ分析
ホームページ	<a href="http://www.architype.jp/">http://www.architype.jp/</a>

①相談内容や従業員ニーズ調査の結果等により判明した課題	<p>【課題1】現在介護中の者やすぐに介護が予定されている者はいないが、今後5年間の内に介護する可能性がある者が多いことが判明した。また、同時に公的な介護保険制度や当社の介護支援制度への理解度が低いことが判明した。</p> <p>【課題2】仕事と介護の両立に不安を抱いている社員が多い。</p> <p>【課題3】社内の仕事と介護の両立支援策が十分でない。</p>
②働き方の見直しに関する検討状況	<p>(1) 検討方法 9月7日 プロジェクトチームを立ち上げ、検討することとした。 【メンバー】: チームリーダー 介護相談員 サブリーダー ディレクター1名 メンバー 代表取締役・企画制作1名</p> <p>(2) 検討経過 ①10月5日第1回検討会 検討内容: アンケート結果の現状分析を行いながら、取り組み内容の方向性を検討した。 ②11月2日第2回検討会 検討内容: 第1回検討会の内容を踏まえ、具体的な取り組みについて検討した。 ③11月20日第3回検討会 検討内容: 具体的な取り組み内容を議論し、決定した。</p>
③仕事と介護の両立に関する取組計画	<p>【目標1】社内研修会の開催による自社の介護制度の周知、国および自治体発信の公的介護支援情報を年1回社内に発信する。介護に関する情報提供および情報交換会の実施 (計画期間等: 平成27年度から毎年1回程度開催)</p> <p>【目標2】介護相談員との個人面談の実施 (計画期間等: 平成27年度から希望者のみ随時実施)</p> <p>【目標3】仕事と介護の両立のための支援制度(在宅勤務制度・短時間勤務制度)の検討 (計画期間等: 平成27年度…在宅勤務制度・短時間勤務制度の導入検討 平成28年度…在宅勤務制度・短時間勤務制度の試行的導入)</p>